



あいづばんげ 議会だより

203号

令和3年10月25日発行
福島県会津坂下町議会

坂下厚生総合病院

昭和33年開院から63年
ありがとう！

令和3年11月4日開院

これからも地域医療の要として
よろしくお願いします！

坂下厚生総合病院

令和2年度 決算認定

第3回定例会（9月議会）目次

- 令和2年度決算審査 2～5P
- 第3回定例会（9月議会） 6～9P
- 8人の議員による一般質問 10～14P
- みんなのひろば・編集後記 16P

令和2年度 決算を認定

令和3年
第3回
定例会

歳入 令和元年度より 20億2,402万2,872円増

| | 令和2年度 | 令和元年度 |
|-------|-----------------|-----------------|
| 予算現額 | 95億9,810万1,000円 | 75億2,150万4,000円 |
| 調定額 | 97億3,444万8,374円 | 75億7,294万1,909円 |
| 収入済額 | 94億1,879万2,894円 | 73億9,477万22円 |
| 不能欠損額 | 392万9,977円 | 472万8,032円 |
| 収入未済額 | 3億1,172万5,503円 | 1億7,344万3,855円 |

【主な増減】

- 国庫支出金 24億8,247万3,564円（令和元年度比19億6,843万1,179円増）
特別定額給付金給付事業補助金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などによる。
- 県支出金 6億8,192万7,047円（令和元年度比4,706万6,658円増）
ふくしま森林再生事業補助金の増額などによる。
- 寄付金 5,091万3,457円（令和元年度比1,333万529円増）
ふるさと納税の増加などによる。

歳出 令和元年度より 18億5,117万1,931円増

| | 令和2年度 | 令和元年度 |
|--------|-----------------|-----------------|
| 予算現額 | 95億9,810万1,000円 | 75億2,150万4,000円 |
| 支出済額 | 89億6,359万8,313円 | 71億1,242万6,382円 |
| 翌年度繰越額 | 3億1,867万円 | 1億3,024万4,000円 |
| 不用額 | 3億1,583万2,678円 | 2億7,883万3,618円 |

【主な増減】

- 総務費 31億2,949万2,550円（令和元年度比18億5,827万601円増）
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業などによる。
- 農林水産業費 4億2,878万868円（令和元年度比65万5,272円減）
多面的機能支払交付金過年度分返還金の減などによる。
- 教育費 8億5,896万2,253円（248万6,023円減）
小中学校空調設備設置工事完了による減、GIGAスクールの取り組みによる小中学校のネットワーク環境整備の増などによる。

決算認定のあらまし

令和3年9月9日(木)～10日(金)に議員13名(議会選出監査委員の酒井育子議員を除く)で構成される「決算特別委員会」を開催し、特別会計を含む8会計について審査を行いました。付託された8会計について、全て適正に執行されたと認定しました。

決算審査意見書概要



監査委員代表
酒井 仙波

令和2年度普通会計決算の特徴は、歳入歳出で新型コロナウイルス感染症対策関連予算措置により大幅な増額となりました。

主な財政分析でも、経常収支比率は会計年度任用職員制度の施行により、人件費が増加したものの、地方税や普通交付税などの増、新型コロナウイルス感染症対策に係る支出や緊急事態宣言下で経常経費が抑制されたことにより前年比3・9%減の85・6%となりました。

これからも財政健全化への取り組みの歩みを止めることなく、更に全庁的に気を引き締めていく必要があります。また、事業選択において、単年度費用にこだわらず、ランニングコストを十分に配慮・検討を望みます。

これまで実施されてきた行財政改革プランに基づく目標進捗状況は、一部達成済みもあり改善に向けて進んでいるものの、特に今年度の決算内容は、特殊要因である新型コロナウイルス感染症対策関連予算が含まれており、必ずしも努力のみのものと楽観視できるものではありません。また、当町の近々の財政負担増の要因である、坂下厚生総合病院の新築移転に伴う支援

負担金や、会津若松地方広域市町村圏整備組合の施設改修・拡充負担金増など、財政負担が重くのしかかる要因も抱え、安心できない状況にあります。引き続き財政再建に向けたあらゆる施策・手法を慎重かつ大胆に見極めていく必要があります。

最後に、昨今の国内外における想定外の気象状況により自然災害や環境の変化もあることから、目標値が必ずしも財政改革目標値に結びつくものではなく、短期的に問題解決が望めるものではないと理解します。しかしながら、長く期間を必要とする財政改革については、財政が厳しくとも行政運営に対する町民満足度の向上と財政再建の両立が不可決であると考えます。町民に不安を与えない行政運営を希望します。

決算審査意見書提出



8月11日

仙波代表監査委員、酒井監査委員から、令和2年度決算審査意見書を提出しました。

(決算審査期間)

7月12日～7月26日

委員会審議内容



副委員長 赤城大地議員

副委員長として、委員会運営の補佐を務めました。委員全員より質疑があり、活発な議論および慎重な審議がなされたと考えます。また、委員各位より指摘のあった事項について、今後の予算編成においてどのように反映されるのか注視してまいります。

歳入総額

令和2年度
一般会計決算額

94 億 1,879 万 2,894 円

歳出総額

89 億 6,359 万 8,313 円

主な質疑 Q A

| | |
|-------------------------------------|---|
| Q 1：固定資産税の滞納額がここ数年増えている要因は？ | A 1：相続がうまくいかないことに加え空き家件数の増加によるものが主な要因です。 |
| Q 2：ふるさと納税が前年より増加した理由は？ | A 2：果樹（もも・柿・りんご）を中心に季節ごとの産品を増やしたことが大きな要因です。 |
| Q 3：マイナンバーカード取得の進捗状況は？ | A 3：令和3年8月末時点で25.6%（会津坂下町の交付率）町役場1階税務管理班脇に申請サポート窓口を開設し申請手続きのお手伝いを行っています。 |
| Q 4：一人暮らし世帯のゴミ回収は非課税世帯のみが対象なのか？ | A 4：非課税世帯の1人暮らし高齢者を対象としています。 |
| Q 5：農村環境改善センターは宿泊も考えて造られたが、その利用状況は？ | A 5：宿泊利用を前提とした建物ではありませんが、時間で貸し出しを行っており、翌日まで利用される場合もあります。令和2年度の利用件数につきましては、274件、2,111名の方の利用がありました。 |
| Q 6：鳥獣駆除実施隊の任務は大変。出動手当は十分なのか？ | A 6：18名の実施隊でわなの設置や見回りなど行っています。銃使用の場合1回あたり4,000円、銃未使用の場合1回あたり2,000円出動手当を支給しています。今後相談しながら検討していきます。 |
| Q 7：道路修繕の現状は？ | A 7：週3回パトロールし、その都度修繕しています。 |
| Q 8：中央公園の今後の整備は？ | A 8：立木は全部伐採し、道路側の植栽も見直し良くします。 |
| Q 9：地下消火栓はどこにあるか分かりづらいと思うが…？ | A 9：できるだけ地上で目に見える消火栓設置の方向で考えます。 |
| Q 10：学校給食における地元食材の自給率は？ | A 10：約30%です。できるだけ地元食材を使用した献立を考え、提供するよう努めています。 |

決算特別委員

令和2年度の各会計歳入歳出決算について、議会選出監査委員を除く13名で構成された決算特別委員会を設置し、議会が決定した予算が適正に執行されたか審議しました。限られた時間の中で委員より多くの発言があり、執行部の答弁も丁寧だったと感じます。



委員長 渡部順子議員

令和2年度特別会計決算額

| 会計 | 歳入 | 歳出 | 差引 | |
|---------------------|-----------------|-----------------|----------------|-----------------|
| 国民健康保険特別会計 | 18億3,909万479円 | 17億6,203万2,251円 | 7,705万8,228円 | |
| 介護保険特別会計 | 22億9,679万8,532円 | 21億8,870万7,403円 | 1億809万1,129円 | |
| 後期高齢者医療特別会計 | 1億9,163万5,745円 | 1億9,163万4,090円 | 1,655円 | |
| 下水道事業特別会計 | 5億3,797万1,119円 | 5億3,797万1,119円 | 0円 | |
| 坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計 | 2億9,086万1,048円 | 2億9,086万1,048円 | 0円 | |
| 農業集落排水事業特別会計 | 6,827万5,009円 | 6,827万5,009円 | 0円 | |
| 企業会計 | 収入(税込) | 支出(税込) | 差引(税込) | |
| 水道事業会計 | 収益的収支 | 5億3,134万8,833円 | 4億7,738万8,946円 | 5,395万9,887円 |
| | 資本的収支 | 2,450万8,700円 | 1億6,220万9,857円 | ▲1億3,770万1,157円 |

討論 決算について私はこう考える

賛成

蓮沼文明議員

歳入での町税及びふるさと納税等の増加、歳出での各部署における必要事業の見極めと的確な事業執行の結果、年度末の実質収支は3億7,082万円となり、高く評価します。確実に町の財政健全化を進め、一層の努力と創意工夫を要望し、令和2年度一般会計歳入歳出決算認定に賛成の討論とします。

賛成

山口 享議員

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に関しても、最大限活用した「会津坂下町生活支援事業」により、あらゆる必要な事業をバランスよく選択され、迅速かつ的確に執行されたと考えます。今後とも適切な予算執行に努められ、町民が「やっぱり“ばんげ”がいい」と思えるよう、日々努力されることを期待し賛成します。

賛成

渡部正司議員

感染症に戸惑う町民に対し、臨時交付金による様々な生活支援事業がなされました。感染防止対策、学生や農工商業者支援、「新しい生活様式」の環境整備など、赤ちゃんから高齢者まで、財政健全化計画を背負っての考える執行を評価します。

賛成

小畑博司議員

昨年度の1年間は「コロナ禍」とのたたかひでしたが、農工商に携わる方々へのきめ細かな支援や、コロナの影響が集中した方々への心遣いなど、しっかり対応できた一年だったと思います。これからも一人も取り残さない対応を期待し、令和2年度一般会計歳入歳出決算認定に賛成の討論とします。

反対

佐藤宗太議員

重大な事務ミスがあり、後任が還付申請するまで平成27年度から令和元年度までの5年間にわたり損害を与え続けました。その後の対応も不十分であると言わざるを得ず、議会チェック機能を果たすべく、下水道事業及び農業集落排水事業特別会計決算認定に反対します。

反対

五十嵐一夫議員

平成27年度消費税改定による税率適用相違により、消費税の過誤納付還付金がありました。平成26年度以前の還付金は時効により還付請求不可、監査報告書において会計管理上重大な事務ミスと指摘があり、認定は議会の見識が問われます。本会計を認定しては不名誉な決算審査となるため、下水道事業及び農業集落排水事業特別会計決算認定に反対します。

第3回(9月)定例会(9/2~9/14)

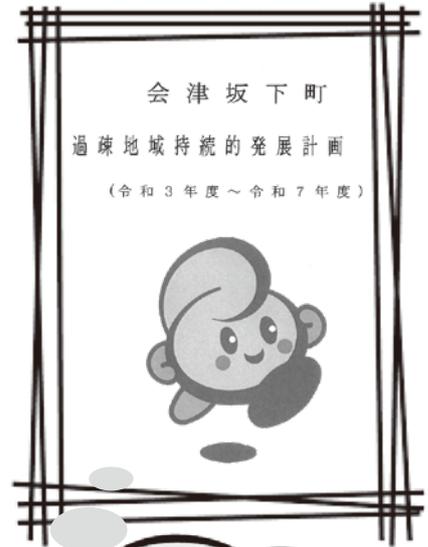
あらまし

令和3年9月2日~9月14日の13日間の会期で開催され、町長報告3件、人事案件3件、条例4件、決算8件、補正予算6件、その他1件が提出され、全て可決・同意されました。また、最終日には町長よりその他2件、議員提出議案2件が追加され、可決されました。

過疎地域持続的発展計画策定 令和3~7年度(前期)

なぜ過疎計画をつくるの??

過疎地域からの自立に向けて、持続可能な地域社会の形成及び地域資源などを活用した地域活力の更なる向上の実現をするために作成します。



令和7年度までの
人口を14,833人
にすることを目指します!
令和3年9月末現在
15,181人

基本方針

1. 町の魅力を活かした「人と地域づくり」
2. 町の特性を生かした「しごとづくり」
3. 安全安心して快適に暮らせる「くらしづくり」

重点的に進める取り組み

○移住・定住・地域間交流の促進、人材育成

「広域観光推進事業」では、「道の駅あいづ湯川・会津坂下」でのイベント、まちなかハイキング等を通じた町の魅力発信を行い、「地域おこし協力隊活用事業」では、移住者目線での地域づくり活動、地域活性化を図ることによる、会津坂下町と都市部に住む方との地域間交流の促進を行います。また、「定住支援事業」では「お試し居住用住宅」、「空き家バンク」を活用した移住・定住の促進を行います。

○子育て環境の確保、高齢者等の保健・福祉の向上及び増進

「乳幼児・児童医療費助成事業」では、18歳までの医療費の全額補助、「放課後児童健全育成事業」では、小学1年生から3年生児童の放課後や長期休み中の子どもの預かりを行ってきましたが、さらに安心して子どもを産み育てられる環境を整備します。

また、「一人暮らし高齢者生活支援事業」では、高齢者世帯へ安否確認を兼ねた臨戸訪問を実施し、「介護予防・地域での支え合い事業」では、町独自の在宅福祉サービスや、介護予防事業を総合的に実施して、高齢者の生きがいのあるまちづくりを目指します。

○地域における情報化

「地方税電子化事業」では、電子申告の普及拡大による情報化推進と行政サービスの向上を図り、「地域インターネット活用事業」では、町ホームページ運用、住民と行政の情報共有体制の構築を図ることで、様々な手法での情報発信により、地域の誰もが安心して恩恵を受けられるまちづくりを推進します。

条 例

議案第 52 号 会津坂下町個人情報保護条例の一部を改正する条例

議案第 53 号 会津坂下町手数料徴収条例の一部を改正する条例

マイナンバーカードの運用を促進するため「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」が改正されたことに伴い、町の条例の一部を改正しました。

議案第 54 号 会津西部斎苑運営基金条例を廃止する条例

この基金は、会津西部斎苑の将来的な大規模改修に備えるため、平成元年に基金を創設しました。現在、会津坂下町・湯川村・柳津町・三島町・金山町・昭和村の6町村で組織する「会津西部斎苑運営連絡協議会」で運営及び管理しており、斎苑の管理運営費や施設整備の維持修繕等については過去3ヶ年の火葬件数で按分し負担していることから、基金の役割は無いものと判断し、条例を廃止しました。なお、基金残額7,239万6,708円は公共施設整備基金に全額積立てます。

議案第 55 号 会津坂下町土地開発基金条例を廃止する条例

この基金は、公共用に活用する土地を取得するため、昭和46年に創設しました。これまで道路2件、その他12筆、合計14筆で2億8,365万2,104円分の土地を購入しました。社会情勢の変化により大規模な公共用地の取得がないため、令和2年度をもって会津若松地方土地開発公社が解散及び清算されたことにより条例を廃止しました。なお、基金残額25万7,424円は公共施設整備基金に全額積み立てます。

予 算

| 一般会計 | | 予算総額 | 増減 | 主な補正内容 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------------------|---|
| 一般会計補正予算(第3号) | | 78億4,090万4,000円 | 1億6,701万6,000円 ^増 | 町道改修、新型コロナワクチン接種延長など |
| 特別会計 | | 予算総額 | 増減 | 主な補正内容 |
| 国民健康保険特別会計補正予算(第2号) | | 18億431万6,000円 | 70万7,000円 ^増 | 繰越金の確定によるもの |
| 介護保険特別会計補正予算(第2号) | | 24億3,966万4,000円 | 6,457万2,000円 ^増 | 介護予防住宅改修費の追加、繰越金の確定など |
| 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) | | 1億8,556万8,000円 | 947万円 ^減 | 保険料の補正、繰越金の確定など |
| 下水道事業特別会計補正予算(第2号) | | 5億4,484万7,000円 | 415万7,000円 ^増 | 坂下東浄化センター脱水ベルトの更新など |
| 企業会計 | | 収入総額(税込) | 増減(税込) | 主な補正内容 |
| 水道事業会計補正予算(第2号) | 収益的収支 | 1億3,170万4,000円 | 104万5,000円 ^増 | 県道赤留塔寺線排水管敷設替工事に伴う消火栓移設工事費、中央監視室計装基盤改修工事費など |
| | 資本的収支 | 2億7,790万6,000円 | 378万4,000円 ^増 | |

審議案件に対する賛否の状況（賛否が分れた議案）

| 件名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
|---|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-------|------|-------|------|
| | 目黒克博 | 蓮沼文明 | 物江政博 | 赤城大地 | 横山智代 | 渡部正司 | 小畑博司 | 佐藤宗太 | 山口享 | 渡部順子 | 五十嵐一夫 | 酒井育子 | 青木美貴子 | 水野孝一 |
| 議案第 61 号 令和 2 年度会津坂下町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | × | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 議長 |
| 議案第 63 号 令和 2 年度会津坂下町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | × | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 議長 |
| 上記以外の議案は賛成全員で可決しました。 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議長は採決に加わりません | | | | | | | | | | | | | | |

議員提出議案第 5 号 意見書を全会一致で関係省庁へ提出 議員提出議案第 6 号

『コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書』

新型コロナウイルスの感染拡大は、変異株の猛威も加わり、我が国の各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしている中で、地方財政は厳しい状況にあります。このような状況において、地域の実状に応じた行政サービスを持続的に提供していくためには、地方交付税等の充実が不可欠であることから、国に対しその実現を強く求める内容です。

【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、総務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣

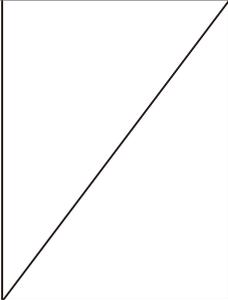
『新型コロナ禍による米危機の 改善を求める意見書』

コロナ禍による相次ぐ緊急事態宣言等の発令で、需要減少に歯止めがかからず、2020年産米の販売不振と米価下落は底なしの状態です。2021年産米価格も暴落し、大規模経営でも米作りから撤退することにつながりかねません。農業者の経営と地域経済を守るために、従来の政府的枠組みにとられない対策を求める内容です。

【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣

請 願 ・ 陳 情 の 審 査

| 請願名 | 提出者 | 委員会 | 本会議 |
|---|--|------------------|---|
| 請願第5号 国に対し「国民投票法の一部を改正する法律の附則に規定された事項と憲法を取り巻く議論を同時並行で進め、活発な憲法論議を行うことを強く求める意見書」の提出を求める請願 | 「美しい日本の憲法をつくる福島県民の会」共同代表 神道政治連盟 福島県本部長 安部 匡俊 河沼支部会員 戸内 英景 | 総務産建 継続審査 |  |
| 請願第6号 新型コロナ禍による米危機の改善を求める請願（案） | 会津農民運動連合会 会長 根本 光一 | 総務産建 採択 | 採択 |

討 論

請願について
私はこう考える



賛成

小畑博司 議員

今年の米価は生産費を下回るような暴落も予想される状況になりつつあります。

生産の意欲を保ち、農業経営を継続していくためにも政府に訴えて行くべきです。



人 事 案 件

同意

教育委員会委員

氏名 和田 至法氏（新任）
 住所 茶屋町在住
 任期 令和3年10月1日～
 令和7年9月30日

議長を除く13名による無記名投票により、賛成多数で同意されました。

同意

人権擁護委員

氏名 大島 悦子氏（再任）
 住所 大上区在住
 任期 令和4年1月1日～
 令和7年12月31日

議長を除く13名による挙手採決により、挙手全員で同意されました。

同意

人権擁護委員

氏名 長谷川 あや子氏（新任）
 住所 天屋区在住
 任期 令和4年1月1日～
 令和7年12月31日

議長を除く13名による挙手採決により、挙手全員で同意されました。

※教育委員会委員とは、人格が高潔で教育や学術、文化に関し識見を有する者のうちから、町長が議会の同意を得て任命します。

※人権擁護委員とは、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行ったりしています。



一般質問

8人の
議員が登壇

一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。一人当たりの持ち時間は答弁を含めて50分です。掲載している内容は、質問者自身が要約し広報広聴特別委員会が校正したものです。議事録は、議会のホームページのほか、ユーチューブでもご覧いただけます。

町の考えを問う

五十嵐一夫 議員 (11 ページ)

1. だから新庁舎が必要なのです
2. 人口減少対策、移住、定住、交流人口拡大への取り組みについて

蓮沼文明 議員 (11 ページ)

1. 町の政策戦略の1つとして総務課内「広報室」の設置について
2. コロナ禍における町のスポーツ推進事業の展開について
3. 坂下南幼稚園バス乗降口駐車場（町民体育館跡地）の有効利用について

物江政博 議員 (12 ページ)

1. 子育て支援および保育行政の政策的位置づけと在り方について

横山智代 議員 (12 ページ)

1. 職員の人材育成について
2. 「道の駅あいづ」について

佐藤宗太 議員 (13 ページ)

1. 教育行政について
2. コロナ禍におけるさらなる町民支援について

小畑博司 議員 (13 ページ)

1. 坂下町が進むべき道を示そう
2. 第6次振興計画の実質化を図ろう
3. 農業の振興策について伺います

日黒克博 議員 (14 ページ)

1. 消防団及び消火活動への後押しについて

渡部正司 議員 (14 ページ)

1. 協議の場について、町の政策協議に議会が参加する場の設置を(できるところから)



五十嵐一夫 議員

だから新庁舎が必要なのです
旧江戸鮎敷地を競売で取得しました

問 庁舎の執務室、区切りがない部署の業務上の機密事項が守られないか。

答 各フロアのミーティングスペース等を利用し、管理責任者を置き重要書類の保管に注意して対応しています。

問 本庁舎の玄関ホールにより良い待合スペースを。

答 提案の階段脇スペースは窮屈であり、現状では確保は困難であります。

問 職員の何人かは庁舎の飲料水は飲まないと答えたが庁舎の飲料水は安全か。

答 配管が老朽化しているが、安心と認識しています。敷地を競売で取得し、用地取得が進んだがこの後の用地取得計画は。

問 令和4年度には建物解体を進め、来庁者駐車場として活用します。

答 周辺の集落維持対策について。公共交通と商店街が連携した高齢者にやさしいまちづくりバス券補助事業による支援の拡大等、路線の存続を図っていきます。



取得した旧江戸鮎

人口減少対策・交流人口拡大対策
過疎対策に果敢に取り組みます

問 コロナ禍においての移住・定住事業がどのように実施されているのか。また今後の対応は。

答 お試し住宅は利用を停止しています。SNSを積極的に活用し情報発信をしています。

問 農業センターの住宅跡地を、菜園体験や会津観光の住まいとして、県と共同で取り組んではどうか。

答 県をはじめ関係機関と連携し、町の資源を活かし、魅力を伝え定住につながる施策に取り組んでいきます。

問 移住・定住、坂下の優位性は何か、優位性を活かしての取り組みは。

答 商業・医療・交通の利便性、豊かな自然を活かすこと、あらゆる媒体を活用し取り組んでいきます。イベントや大会での来町者が町経済効果に寄与する取り組みは、特産品の案内や町ファンを増やす取り組みを行っています。

問 商業・医療・交通の利便性、豊かな自然を活かすこと、あらゆる媒体を活用し取り組んでいきます。



蓮沼文明 議員

今後の町の政策戦略の一つとして、総務課『広報室』を設置し、情報発信の強化を！
機構改革において、全庁的に取り組む課題としてとらえ、その体制強化に努めて参ります

問 町総務課内に「広報室」を新たに設置し、町情報を新聞・テレビ等メディアに対し、より速く且つ正確に情報を提供することは、今後の町の政策戦略の一つと考える。「広報室」からの情報の発信強化策は、本町に必要不可欠と捉えるが、町の見解を伺う。

答 戦略的な情報の発信や情報発信体制の強化は、活力あるまちづくりや町の魅力を伝えるうえで非常に重要であると認識しており、第六次会津坂下町振興計画においても重点的に進める施策として掲げ、効果的な情報の発信・拡散に取り組むこととしております。現在検討している機構改革においても全庁的に取り組む課題としてとらえ、その体制強化に努めてまいります。

問 町民プールの温水化整備について、町の見解を伺う

答 近年の少子化のなかにありながら、町民プールでの「ちびっこ水泳教室」は毎年、受講生が増加している。青少年の体力増強及び競技力向上並びに健康増進のスポーツ振興の観点から、年間を通してのプール営業を望む声も非常に多い。町民プールの温水化整備事業について、町の見解を伺う。

問 近年の少子化のなかにありながら、町民プールでの「ちびっこ水泳教室」は毎年、受講生が増加している。青少年の体力増強及び競技力向上並びに健康増進のスポーツ振興の観点から、年間を通してのプール営業を望む声も非常に多い。町民プールの温水化整備事業について、町の見解を伺う。

答 心身の発達段階にある青少年期における体育・スポーツ活動は、単に体力を養うだけでなく、生涯を通じてのスポーツ活動の基礎を培ううえで極めて重要であります。水泳は、筋力・体力・心肺機能の強化だけでなく、リラッククス効果も得られることから、子供の健全な成長のためには良いとされており、町民プールの温水化事業につきましても、施設の整備費やランニングコスト等を考慮すると、早急な対応は難しいと考えております。



元気いっぱいの水泳教室

これも質問

問 コロナ禍のなか、町のスポーツ振興の柱としている事業は何かを問う。

答 幼稚園バス乗降所（旧町民体育館跡地）の有効活用について伺う。



物江政博 議員

今後の「子育て支援」を伺う
切れ目のない支援の体制づくりを進めます

問 当町の子育て支援の政策的な位置づけとあり方に関する基本的な考えについて。

答 具体的には、子供・子育てに対応するサービスの提供と、保育、教育、保健、福祉事業などを包括した切れ目のない支援の体制づくりを進めることを示しており、基本理念を「子育てに喜びを感じて安心して子供を産み育てる事のできるまち」として、社会全体で、子ども・子育てを支援する体制を整備することを目的とします。

問 当町の保育料をどのように捉えているのか。

答 「保育料の設定については、国が定める国基準額を定めていますが、そのまま適用すると保護者の負担が大きすぎるため、各自自治体における実際の保育料は、国基準より低く設定される場合がほとんどであります。現在の当町の保育料は、国基準額の三割であり、残り七割を町独自の負担軽減としており、軽減分の試算額は年間約3千万円程度となっております。



子供たちが健やかに育つ環境を



横山智代 議員

「職員の人材育成について」
町民から信頼される職員の育成に取り組んでまいります

問 職員の適材適所への配置はなされているのか又、町民に信頼される職員の育成をどのように考え行っているのか。

答 職員の配置にあたりましては、異動等を申告する自己申告書に基づき、副町長、教育長及び総務課長が職員一人ひとりと面談を実施し、職員としての目標や意欲等を把握した上で、適材適所の配置に努めているところです。

**「道の駅あいづ」の役割は何か
地域振興です**

問 「道の駅あいづ」の果たす役割と町としての立ち位置はどのようなになっているのか。

答 「道の駅あいづ湯川・会津坂下」は地域の過疎化が進む中において、地域経済の活性化や観光振興、産業振興、雇用の創出等による地域振興を目的として、会津坂下町と湯川村が共同で設置した施設であります。町は「道の駅あいづ」が地域振興施設として役割を果たすよう、その運営に責任ある関わりをしていかなければならないと認識しております。



道の駅あいづ湯川・会津坂下



佐藤宗太 議員

援は コロナ禍におけるさらなる町民支
独自の支援策を追加で実施してま
いります

問

具体的な支援策は。

答

現在、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」における「事業者支援分」1,970万2千円の追加交付が新たに示されました。会津坂下町商工会と協議を行い、「会津坂下町生活支援事業」として町独自の支援策を追加で実施してまいります。

通学路合同点検における危険個所の対策は

順次対策を図ってまいります

問

危険個所の修繕計画等は。

答

合同点検箇所は、坂下南小学校区が15ヶ所、坂下東小学校区8ヶ所で合計23ヶ所となりました。確認した危険箇所については、その場で対応策の協議を行い、その中で、歩行スペースを確保するために外側線の引き直しや減速・一時停止を促すために破



安心して通学できる歩道を

線（ドット線）を引くなど早急にできる対策につまましては、9月補正予算に計上しました。歩道の整備など、道路のハード面の対策は道路管理者へ、交通規制、横断歩道や信号機の設置など交通行政に伴う対策については、地元警察署に対して要望を行っております。



小畑博司 議員

ばんげ “が進むべき道は
「やっぱりばんげがいい！住みつけたいやりたい事がある町」づくりです

問

気候変動が一層進み、少子・高齢化が進む10年後を見据えて、どんな町にしていくのか。

答

町がめざす将来像は、第6次振興計画にあるとおり「やっぱりばんげ」がいい！住み続けたい、やりたいことがあるまちです。そして、「ひとづくり」「くらしづくり」「しごとづくり」「しくみづくり」によって持続可能なまちを目指します。

問

多くの意見を取り入れよ
アンケートを考えています

問

振興計画はより幅広い意見を取り入れ、町民全体で共有する必要があります。そのために、どんな町にしたいか、どんな暮らしがしたいか募集してはどうか。

答

振興計画を推進していくためには広く町民の意見を取り入れ、町の施策に反映させて行く必要があります。その手段として年齢性別を問わず、施策への評価や、意見・要望などを回答していただくアンケートを考えっております。

これも質問

問 地産地消を前提とした最低価格保証付き有機野菜の栽培推進を。

問 イノシシ対策にもなると言われる山椒の栽培推進を。

問 耕作放棄地にならないように漆の植え付けと活用を。(会津塗に活かす)



活用を待つ空き家



目黒克博 議員

消防団及び消火活動への後押しについて 消防団の活動しやすい環境づくりに努めます

問 火災発生時における水利確保について問う。

答 火災発生時に消火活動を迅速に行うためには、消防水利等の位置を把握することが何より重要です。消防団の各車両には町内各所の消火栓等の消防水利位置が明示されている地図が常備されており、消火活動を迅速に行える体制の確保をしております。消防団を取り巻く社会情勢は厳しさを増しておりますが、今後も初動体制の確保や火災時の迅速な消化活動に向けて常備消防と更なる連携の向上に努めてまいります。

問 火災現場での初期消火を円滑に行うため、地元消防団員以外に水利消火栓等の情報をいち早く提供する水利班を設置する考えは。

答 消防団の各車両には、町内各所の消火栓等の消防水利位置が明示されている地図が常備されており、火災現場への移動中に水利位置を把握し、消火活動を行う体制の確保を図っています。水利の情報を提供する「水利班」の設置は困難であると考えます。

問 消防団と町の今後の連携について問う。

答 現在、分団長を中心とした「会津坂下町消防団活性化委員会」において、団員の確保、初動体制の確保及び消防団組織の見直しなど、消防団が直面している課題解決に向けて協議を行っています。町としても国が公表した「消防団の処遇等に関する検討会」最終報告書の内容を踏まえ、団員報酬や火災に関する出動手当、地域の実情に応じた訓練方法について見直しを進め、消防団が活動しやすい環境の整備に努め、自主防災組織など地域の防災力の充実化を図ってまいります。



各所に設置してある消火栓



渡部正司 議員

協議のあり方をどう考えているか 様々な立場の参加が重要です

問 町施策の協議に議会（町民）が参加することの意義は大きく、

町民の声が届き、見える化や理解が進み、行政への信頼の醸成に貢献できる。町が決めた政策を議会へ報告するだけでなく、議会からの意見が政策に反映されるように、協議の過程に議会が参加する機会を設けることについてどう考えるか。

答 町の政策協議に議会が参加することは、政策がより民意を反映させたものになると共に、さらなる住民サービスの向上に繋がるものと考えます。より広く皆様の声をお聞きする必要があります。必要がある事項等について、議員、あるいは委員の公募等の取り組みを進めてまいります。

問 事業の評価を議会（町民）とともに進めることについてどう考えるか。

答 町の内部評価結果に基づき、目的や達成状況、課題などを議会と共有し、福祉の向上のためにも、多様な意見を反映することは意義があると考えています。具体的に協議をして

まいります。

問 町長は、『町民の意見を聞かせてもらいたい』と述べていますが、コロナ禍にあつてオンラインの可能性を含み、どのように具体化していくか。

答 町長自ら赴く懇談会は、対面が重要と考えており、感染症状況を見極めながら開催します。コロナ禍で活用されているオンラインも有効な手段であるため検討します。

問 一般質問で取り上げられた内容のその後の対応は。

答 機会ある毎に施策に反映させ、事業の経過や進捗状況について報告しています。



第4回臨時会（令和3年8月20日開催）

『副町長の選任につき同意を求めることについて』



新副町長
板橋正良氏

賛成多数で同意

今後のご活躍を期待しています

将来を見据え、町民皆様方がいきいきと生活できる「やっばり“ばんげ”がいい！～住み続けたい、やりたい事があふれるまち～」の実現に向け、古川町長が掲げている「新しいまちづくりの推進」「人づくり・少子化対策支援」「産業のさらなる振興」「健康づくり」の4本の柱を基本に置き、住民の目線に立って、これまでの行政経験を最大限に生かし、町長の補佐役としての使命感に徹し、その職務に専心する決意であります。

2期8年間 お疲れさまでした



日下 亮氏

現在まで私が基本としてきたことは、町民満足度と財政出動の両者を鑑み、よりベターにそしてよりベストにということで事業等の進捗を考えてきました。財政が厳しくとも、町民に不安を与えないことが私たちの責務であり、後年度においても責任が持てる執行で、安心を提供していくことが使命と考えます。これまでご指導・ご支援をいただきました議員の皆様をはじめ、多くの町民の皆様から感謝とお礼を申し上げます。

議員研修会（令和3年8月17日開催）

8月17日（金）午後1時30分から議場において、議員研修会を開催しました。

今回も関西学院大学教授の小西砂千夫氏を講師にお招きし感染対策を徹底した中で開催しました。

『会津坂下町の財政状況と町議会としての取り組みについて』と題し講演をいただきました。

国の方向性を精査した中で地方財政の分析がなされており、「会津坂下町の財政状況は、自動操縦状態から着地への検討時期にあり、大変重要な時期にきている」と言われました。

今後も町民を代表する議事機関（議会）として、議員一人ひとりの役割を十分認識し、行政を監視するとともに重要な施策を討議及び立案していきます。



議員研修会の様子

教えて！議会のことば Part 5



◆特別委員会

常に設置されている常任委員会に対し、必要のある場合や特定のものを審査するために設置される委員会のことをいいます。当町議会では、予算特別委員会や決算特別委員会、広報広聴特別委員会、議会改革特別委員会、行財政改革検討特別委員会があります。

◆議会閉会中の継続審査・継続調査

会期中に議案などの審査を終了することが困難な場合に、議会の議決によって、会期が終了した閉会後も、引き続いて委員会で審査及び調査を行うことです。



みんなのひろば



小林純一さん
(片門)

外で思いっきり
体を動かしたい!

昨年より新型コロナウイルス感染症拡大により、日常生活に様々な影響が出ています。
その中でも、運動部に所属している二人の子供たちの練習・実践の機会が激減している状況をとっても残念に思います。下の子は野球部に所属していますが、会津坂下町には立派な球場があり、熱心な保護者の皆様のご協力や、町の代表チームに指導いただくなど、野球をするにはとても良い環境であると感じていきます。
ただ、雪国である以上、冬、屋外スポーツの冬期間の練習場の問題は避けられません。町民体育館が解体されてから早3年、冬期練習場の確保のみならず、町民の健康増進のためにも体育館を併設したスポーツ施設があればいいと思います。
新型コロナウイルス問題が一刻も早く収束し、以前と同じように子供たちが伸び伸びとスポーツに打ち込めるようになって欲しいと願うばかりです。



藤田 泉さん
(上町)

伝統は後世に
残すべき!!

「会津まつり」は最高の行事であり誇りです。たくさんの子供会が提灯行列で練り歩きました。会津磐梯山の謡や笛、太鼓に合わせ、社名入りの法被や浴衣で幾重もの輪になり月夜を踊りあかしました。この節になると、あのころの熱気が思い出されます。
会津藩公行列は、各々に意のある隊列であります。会津藩にゆかりのある京都、青森、岐阜、新潟などを訪ねてみました。会津にも只見、母成、束松、おけいの墓、中野竹子女史の墓があります。
辞世の歌
『武士の^{ものふ} 猛き心にくらぶれば
数にも入らぬ 吾が身ながらも』
(中野竹子)
昔は、運動会の際に白虎隊、女白虎隊を全員で舞ったそうです。耳と体で覚えた会津の誇りを持っていけば、他県や外国に行っても生きてゆけるだろうと感じます。
「会津魂」これからも代々守っていかねばならないと思います。

次回定例会のご案内

令和3年第4回定例会は、12月2日(木)から12月10日(金)までの会期(予定)です。一般質問は12月6日(月)、7日(火)午前10時開会予定です。傍聴にぜひお越しください。傍聴の際はマスクの着用をお願いいたします。

編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大により私たちの命、暮らし、全てに大きな影響を及ぼしています。更に、異常気象による災害が世界中で多発しています。私たちに今できる事、今すべき事を考え、出来る事から取り組まなければならない時です。地球温暖化は感染症流行の要因の一つとされています。ストップをかけるために、子供たちの未来のためにみんなで考え、行動に移すことが必要ではないでしょうか。

(副委員長 横山 智代)



広報広聴特別委員会

- 委員長 青木美貴子
- 副委員長 横山 智代
- 委員 目黒 克博
- 委員 蓮沼 文明
- 委員 小畑 博司

※ 本誌掲載記事写真等の無断転載を禁じます。